

## 堀江地区タウンミーティング（要約）

平成25年5月26日（日曜）

【市長】 皆さんこんにちは。今日は日曜日で、休日です。皆さんおくつろぎのところお集まりいただきまして、ありがとうございます。皆さん御存じのように、このタウンミーティングは、市内全地区、旧北条、旧中島を入れますと全部で41地区に分かれるんですが、この地区ごとに開催しております。開催にあたりましては、堀江地区まちづくりコミュニティ会議の石丸会長を初め、役員の皆様にお力添えいただきまして、ありがとうございます。私が就任して始めさせていただきまして、それは、役所で待ってるのではなくて、各地に我々出向かせていただいて、地域のお困りのこととか課題とか、また魅力についてお聞かせいただくということで始めました。最初市長の任期は1期4年、48カ月ですので、1カ月に1回のペースで回っていったらと考えていたんですけど、できることからすぐ市政に反映させていきますので、おかげさまで好評になりまして、思い切って前倒しをして2年2カ月で1巡目は回らせていただきました。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないという思いを大事にしたい、これからも現地現場を大切にしたいと思いましたので、1巡で終わるのではなく、2巡目に入ろうと思ひまして、今回、堀江地区が2巡目の最初ということになります。堀江地区の場合、皆さんからご意見をいただいて実現できたのが、海の駅、「うみてらす」などがまさにそれになります。あれは皆さんからご要望いただいて、ご要望だけでなく、青空市とか夏祭りをしたりして、ただ要望するだけでなく、皆さんが実際に動いてくださったので、あれだけ早く「うみてらす」ができたと思っています。今日も皆さんといい話し合いができればいいなと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。また今日は、ほりえゆめくらぶからたくさんお子さんたちも来てくれてますし、90分ずっと肩肘張っていると疲れますので、肩肘張らずにざっくばらんな議論ができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【女性】 堀江小学校でPTAをしております。よろしく願いいたします。市長さんに通学路の安全対策についてお願いしたいことがあるんですけど、先日地域の皆様も含めて通学路の危険箇所を見回りました。そこで、一部の通学路が車の抜け道になっておりまして、スピードもかなり出していて、狭いので大変危ないということを感じました。それでお聞きしたいんですけども、昨年度赤いカラー舗装をされたところが別のところで1カ所ありまして、それがドライバーの方にも大変目立っていいとい

うことで、今回の場所についても赤くカラー塗装とかをできないかというご意見が皆さんから出されました。子どもたちの安全を守るためですので、お願いできませんでしょうかということをお聞きしたいです。

【市長】 わかりました。まず私からご説明させていただいて、教育委員会に渡そうと思えますけれども、こちらに松山市役所のホームページが出ているんですけれども、学校ごとの、例えば堀江小学校だったら通学路にはこういうところに危険なところがあります、こういうふうに改善していく方向ですというのを出示しております。経緯から申しますと、去年の4月に京都のほうで、通学路で不幸な事故がありました。ああいうことが松山であってはいけないということで、松山市独自に一斉点検しよう、そして大がかりなものでは、去年の夏休みには国も県も市も一緒になって警察も先生も親御さんも一緒になって緊急点検しました。できることから改善していこうということでやらせていただいております。皆さんもご家庭に帰ったら見られる方は見ていただければと思うんですが、教育委員会から補足してください。

【生涯学習政策課長】 今市長が申したとおり、先般通学路の緊急点検を一斉に行いました。約300カ所ありまして、松山市全体で言いますと100カ所の改修等を行ったところです。これを最後にするということではありませんので、また皆さんのご意見を聞きまして、場所を確認し、先ほど言いました赤いカラー塗装、堀江に1カ所あると思うんですけれども、できるかどうか検討したいと思っておりますので、後ほど場所を教えてください。よろしくをお願いします。

【市長】 我々今日終わったらすぐ帰るわけではありませんので、生涯学習政策課長まで言っていたら対応させていただきますし、また対応が決まっている場合はお知らせできますので。通学路のことで一つ申し上げますと、よくあるのが道路があつて横に水路がある場合があります。あの水路を埋め立ててくれたら道が広くなって、安全になるんやけどと言われることがあるんですけれども、実はさまざまありまして、水路は農業されてる方が使っているケースが多いです。ふたを閉めてしまうと一見道路が広がってよさそうですけど、水路にごみがたまつた場合に掃除がしにくいということで、農業関係の方はできたらあまりふたはしたくないという傾向があります。その気持ちはわかります。という理由でなかなか進まないということと、逆に水路にふたをして道が広くなると、抜け道になって危なくなるケースがあります。ですのでよく状況を調査しながらやっついていかないといけない。カラー舗装の場合は比較的安くできますので、カラー舗装をさせていただくことが結構多いです。もう一つ、ガードレールつ

くってくれたら子どもたちすごく安全じゃないですかって言われるケースあるんですけど、確かにスペースがあるところはガードレールするといいたけれど、沿道のほうの車の出入りがしにくくなるということで、ガードレールは難しいという側面があります。ですからいろいろ調査してやるということになります。このように堀江小学校もここに出ているだけで11カ所の改善が必要とされるところが出ていて、そして赤でこういうふうに変えていきますということで出ていますので、また見ていただいたらと思います。よろしくお願ひします。これで終わりではないので、危険なところがあったらまた言っていただいたら、すぐに改善していきますのでよろしくお願ひいたします。

【男性】 今の関連質問です。町内会長しております。よろしくお願ひします。通学路の安全点検されて危険な箇所、先ほど言われましたけれども、路上駐車をされているともうそこが危険箇所になるんです。常習犯みたいなのがおって、ちょうど通学路になっていまして、危険なんで、町内として路上駐車禁止とかしたらええもんか、よければ松山市として、市道になりますんで、路上駐車で危ないんで、そこは駐車遠慮願ひますとかいうような立て看板をしてもらえれば、町内会としても取りつけいたしますので。先日もごみの集積所の看板を希望のところあげますということでいただいてつけさせていただきました。非常に啓発としてよかったんで、できれば路上駐車も、危険箇所以外にそういう盲点があるということで考えてもらったらと思います。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。まず市道に止められた車ということで、市のほうで警察と協議をいたしまして対応できるようにしたいと思ひますので、後ほどまた場所をだいたいどのあたりということで教えていただいたら対応したいと思ひます。

【市長】 今警察のほうでは、交番からパトロールを重視する形で、今パトカーがくるくる走っている光景が昔より見られるようになったと思ひますけれども、人員のこともあるんでしょう、パトカーで回るケースを増やしていくと警察から聞いてます。推測すると、看板も一つ効果があると思ひますけれども、やっぱり看板置いとつても置く人っていますよね。ですので、見つけられたら警察のほうに連絡されるとパトカーがまわってきて、ここは路上駐車しちゃだめですよ、そこは路上駐車禁止のところですかね。

【男性】 ちょうど三叉路のところです。

【市長】 悪質な場合は警察に直接言ってもらう合わせ技がございますので、警察に動いてもらうというケースも有効かと思ひます。また場所を教

えていただいたら、こちらから警察にも言うておきますので。

【男性】 堀江地区社会福祉協議会です。先ほどの前回の2問については了解しましたので、よろしくお願ひします。実は松山市で65歳以上の単身者の全戸訪問調査を昨年10月ぐらいからやっておられるとお聞きしておりました。実は堀江地区でも65歳以上の一人住まいの高齢者が包括支援センターの調査では750人ぐらいおられる。そのうちの200人ぐらいは民生委員さんのお世話で申請して訪問して調査をしていただくと、みまもり員さんもやっておられるんですが、その調査結果がどのようになつておられるんだらうか。3月か4月には結果が出ると聞いています。堀江の調査員も、何回もお伺ひしたけどおられなかったということで、かなり遅れているのではなからうかと思ひますけれども、その調査結果につきまして、説明をしていただけたらと思ひます。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の高橋と申します。調査結果につきましては現在とりまとめをしております。6月の民生児童委員協議会会長会で詳細についてはお示しする予定になっております。概要につきましては、住民票上の65歳以上の単身の高齢者世帯、約36,000人から介護施設に入っているとか、すでに民生児童委員さんでみまもりをされている方を除いた21,000人に対して調査を行いました。その結果、独居と確認できた12,000人のうちおよそ8割の方については日常生活の中で相談できる方とか、緊急のときには連絡できる方がいると答へられています。約1,500の方が、民生児童委員によるみまもりを希望されている状況になっています。

【男性】 それで、やはり自主防災の関係もございまして、個人情報の問題もございまして、できれば自主防災と社協の役員への名簿の提出いただけたら、私たちも活かしていきたいと思ひますので、考慮していただけたらと思ひます。以上です。

【保健福祉政策課長】 名簿と、その今後の活用につきましては、その調査結果を地区の民生委員協議会の会長さんにお渡しするようになっております。市役所としましては、社会福祉協議会と情報を共有して、みまもりを希望される方の状況の確認とか、昨年9月に松山市見守りネットワークを立ち上げたんですが、そういうときの安否確認に活用させていただくようにしております。

【市長】 今日はお子さんも来られてるのでわかりやすく言いますと、松山市は人口が52万人。四国で一番大きなまちなんです。65歳以上で一人で暮らしているおじいちゃん、おばあちゃんが36,000人います。その人たちから介護施設に入っている人、すでに民生児童委員さんのみま

もりを受けてる人15,000人を引いた、残り21,000人に調査してるんです。もし大きな地震があったときどうやって逃げますかって話を聞かせていただいているということです。市役所も頑張るんだけど、民生児童委員さんとか、また今は企業の方も参加してくださって、例えば郵便屋さん毎日のように家に来るでしょ。新聞屋さんも来るでしょ。そういうときに郵便物がいっぱいたまったら、あつ何かあったんじゃないかなって思いますよね。で、高齢者見守りネットワークっていうのを19の団体や企業さんが入ってやっています。ますます増やしてるんだけど、今そういうふうにしてお一人暮らしの方が病気になっても対応できるように仕組みをつくっているということです。

【男性】 堀江地区の高齢クラブ連合会をやっております。10クラブ、603名、その中には一人住まいで弱い方も含まれてる場合もありまして、社会福祉協議会のお世話になっております。今日は市長さんに大きなお願いがあるんですが、そのお願いを先に申し上げます。堀江地区に、小学生と我々年寄りが簡単に気楽にふれあう場所、例えばふれあい児童館というような施設をお願いできないだろうか。これが結論です。我々10クラブ、603名は、3年前から高齢者学級のテーマを決めまして、一昨年は元気な100歳を目指してをテーマにシンポジウムを開催しました。その結果はグラウンドゴルフの参加者が年々増加して、健康になりつつあるという実感があります。昨年は命を守るというテーマで、大規模災害時の避難場所、避難経路をクラブごとに作成しました。その際には市から現地に派遣された看護師の方を講師に派遣してくれまして、現場の声を聞いて勉強になりました。この大規模災害時の避難に関しては、初めて取り掛かったということで、これからの残された課題のほうが大きいと思っております。で、今年は教育支援と連合会の役割というテーマで、実は第1回目を先だってやりました。堀江地区は先ほど市長さんのお話にもありましたとおり、教育支援のコーディネーターが実に鮮やかなコーディネートをされまして、伝統的に学社融合が果たされておる中で、先の短い年寄りがなんとか地域にお返しするという、何ができるかということで、教育支援のあいさつ運動、それから児童みまもり、この二つをテーマとしてなるべく広い範囲で以前よりはお年寄りが活動しだしたというように変わっていきたいと思っております。そのためにも、まあすぐにはふれあい児童館設立ということにはならないと思いますが、「うみてらす」が実現したスピードを見ましたら、案外我々の目の黒い間に実現するんじゃないかと期待しております。10クラブのうち3クラブは開校日以外、土・日、祝日、祭日とか放課後のなるべく児童を巻き込んだ世帯交流の催しを計画しております。

これも年々成果をあげておりまして、それをやるクラブも増えつつあります。で、少子高齢化社会、なんとか将来の国の宝である子どもさんへの支援ができないか、子育て中のママの支援ができないかということで、地域でお年寄りができることいろいろ工夫してやっていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 今ふれあい児童館というお話が出ました。私もできればいいなと思います。例えば松山で言いますと、清水小学校にそういう場所ができています。あそこは清水小学校の建物を利用して地元の高齢者の方と子どもたちがふれあえる場所ができていますが、あれは清水小学校が姫山小学校と分離して、空き教室がたくさんできたので、子どもたちとお年寄りが交流する場ができました。今私もそういう場所がないかずっと見てるんですが、なかなか空き教室がない。昔よりは少ない人数でやりましょうということになってきております、そして多目的ホールとして使ったりとかでなかなか空き教室がないというので、たちまち堀江小学校でそういう場所ができるかというところちょっと難しいと思います。児童館の話で言いますと、地区と児童館との距離が一番遠いのが北条地区で、児童館までの距離が大変遠いです。堀江の支所から一番近いのは久枝児童館まで4.2 kmですが、北条の例えば浅海から一番近い児童館となると久枝になってしまいますので、16.9 kmとか、立岩だと15.1 kmとか、北条中心部でも12.5 kmとかやっぱり3倍以上遠くなっていますので、どちらかということ北条地区に児童館を設置するのが先になるろうと思います。まだ最終決定ではないんですけれども。だったらどうするかというと、この堀江の場所に土地を買って、建てるとなるとやっぱり最初の初期投資、維持管理費用が要りますので、その形ではなくて、どちらかということソフト面をバックアップする形での交流をしていただくことになろうかと思います。なかなか厳しいですというお話をして申しわけないんですけれども、今松山の課題としては、松山外環状道路をつくっています。あれは松山インターチェンジと空港との間が時間がかかりすぎてるんです。30分以上、こんなところはそんなにないです。地元のインターチェンジと空港が30分以上かかりますってところが全国で4カ所だけあります。一つは松山で、あとの三つは北海道です。あの大きい北海道と松山が同じ状態になっているのはなぜかというと、松山はインターチェンジから松山市内朝生田、天山のほうに入ってきて環状線で新空港通りを通過して空港へ、わざわざ街中に入ってくるんですけれども、斜めに通しちゃったほうがいいということで、外環状道路を国、県、市で共同してやっています。あとJR松山駅、古いですね。あの松山駅周辺整備をしなければいけない。で、水問題も解決していかなければ

ればならない。そしてどんどん高度成長時代につくった建物が古くなってきています。松山市民会館、今延命するために耐震化していますけれども、コミセンも古くなってきました。こういうことをどうするかというところで、多額の費用がかかりますので、もちろん無駄には使いませんが、松山、財政的にはいいほうですけど、そんな松山でもなかなか課題は多いので、なかなか建ててっていうのが難しいのが現状です。

【女性】 内宮中学校3年です。3月に「うみてらす」ができて、青空市とかお祭りとかで結構にぎわっていると思うんですけど、普段の「うみてらす」は、今日も行ったんですけど全然人がいなくて、ちょっとさみしいなと思ったので、何か「うみてらす」が普段ももっと人が来れるような施設とかがあったらいいなと思います。

【都市政策課長】 私も先ほど改めて現地へ行ってきました。そしたら、中学生の子が見てたよという話を聞きまして、たぶんそうじゃないかなと思うんですが。皆さん、「うみてらす」は行かれたことがございますでしょうか。たくさん行かれてると思います。先ほど市長が言いましたように、今年の4月からバスが運行されております。広場の整備で駐車場を45台ぐらい、自転車、駐輪場を40台ぐらい、今年度整備するように予定をしております。駐車場についてはバスが運行されますので、そこへ車をおいていただいて、バスに乗っていただくということもしていただけたらと思います。実際に休憩所、トイレとか自動販売機とか、また2階に上がると非常に景色がいいです。そういったことのほかにということで、ぜひ、地元のコミュニティ会議の方とも協力をさせていただいて、地元を通してのご意見も聞かせていただいた上で、今後、青空市や十七夜などのお祭り以外にも、いろいろと活用していける方法を考えていきたいと思っています。

【市長】 いい質問をいただきました。ありがとうございました。まちづくりで覚えておいてほしいのが、何も知らない行政が、地域の声もよく聞かないで押しつけるとだいたい失敗する。もう1回言いますよ。行政が、地元の声も聞かないで、意見調整もしないで、押しつけると失敗する。最初に言った海の駅は、地元の方の動きがありました。昔は二つのフェリーの航路があった、とつてもにぎやかだったけど、さみしくなってきた。でもこの堀江を何とかしたいという動きがあったのであれができたんです。屋内、屋外、さまざまなイベントに活用できる場所、堀江港からの景色を堪能できる施設にしてほしいという要望を受けたので、イベントにも十分対応可能なトイレの個数を確保した。ヨットスクールや産直市など多目的に利用できる休憩室、イベント開催時にステージとして使用できる屋外テラス、来られた方がゆったりくつろげる屋上の展望台。いろんなコミュニ

ティ活動に使ってもらえると思っています。で、一番堀江の魅力、堀江で何を見てもらいたいのか、何を売ったらいいか、一番知ってるのは、堀江にお住まいの皆さんですよね。何を見てもらえたらいいだろう、何したら盛り上がるだろう、一番堀江のことについて御存じなのは堀江の方です。それは行政がやるよりも皆さんが一番知っていると思います。だから皆さんのほうで主体的に動いていただいたほうが、もちろん松山市何もしませんというんじゃないんです。皆さんが動かれるのをサポートしていくほうがきっといいイベントになると思います。ですので、与えられるというんじゃないくて、地元が動いていくというほうがいい形になると思います。ちょうどホテルの季節になったんですが、坂本地区、松山の奥、三坂峠の下です。坂本ではホテル祭りを長年地元の方が中心になってやっているんです。「うみてらす」みたいな施設ができていくわけじゃありません。大黒座という、昔の酒蔵を活用してやっているんです。せっかくいい、「うみてらす」という場所ができましたので、ヨットの係留施設6隻分つくってますけども、あれは瀬戸内海でヨットやクルーザーをお持ちの方が来れるようにしているものです。JRの堀江駅が近いですから、歩いて、またパークアンドライドの場所としてバスも来ることになりましたので、そういうヨットで来られた方が、バスやJRに乗って道後温泉に入りに行くこともできる場所です。そういう恵まれた点が多々あるのが「うみてらす」ですから、条件としては悪くない、どちらかといえばいいので、多いに活用していただけたらと思います。よろしくお願いします。これ、担当は空港港湾課になりますので、地元で意見をまとめてやっていただけたらと思います。

【男性】 民生委員をしております。先ほども津波の話が出たんですが、この堀江地区は津波に対しては全く無防備な状態ではないかと思っています。それです、この堀江公民館に屋上の避難場所をつくっていただきたいと思うんです。ここは災害時の避難場所になっておりますが、ここまで、2階までなんですね。この屋上に避難場所をつくっていただけたらと思います。さらに、この近くに山崎の丘という小高い30mほどの山がありますが、この山頂には3本ほど山道があります。非常に避難場所としてはいいんじゃないかと思っていますので、この山崎の丘に避難場所をつくっていただけたらと思います。ここは山頂に登りますと、非常に風光明媚な堀江湾が一望できます。一度登ってみてください。

【消防局総務課長】 消防局の中矢と申します。ここの屋上を避難場所という話ですけど、堀江公民館は、G.L.（地盤の高さ）で4.8mありますので、現在の想定ではここまでは津波はこないものと想定しています。それと、すぐ近くに堀江小学校があり、標高10m近くありますので、そ

ちらに避難していただければ、今のところ安全ということで、先ほど市長からもありましたように、愛媛県が詳細な市や町単位での被害想定を今調査しておりますので、その調査結果が出ましたら、それに合わせてまた検討をしていくようになるかと思えます。それと先ほど、堀江地区は津波に対して無防備とおっしゃいましたけれども、津波に対して、堀江地区が地区をあげて一番多く訓練していただいていると、私のほうは認識しております。昨年の津波防災の日に合わせて訓練も、千人を超える方が参加していただきましたし、一昨年の石井小学校をメイン会場とした総合防災訓練のときも堀江は津波避難訓練をまちをあげて実施していただいておりますので、そのような日ごろの堀江小学校に逃げていただくという訓練が、今後役に立つのではないかと考えております。

【男性】 堀江小学校おやじの会、代表をさせていただきます。よろしくお願ひします。一つお願ひで、堀江小学校のテントをしまう場所を一つ、一つと言わず二つでもいいんですが確保してほしいと。実は今テントをしまうのが、プールの下ということで、高さが140cmくらいですかね、ここは皆さんかがんで入って、中腰で作業しないとできない。単に運動会で使うとかなんとかだったらいいんですが、堀江地区は各地区で運動会とかいろんな催し物をやっております。先日も青空市、このときも十数張り堀江小学校からテントを出しました。いろんな方がお手伝いしていただくんですけど、腰を痛めたとか、頭を打ったとかありますので、難しいお願ひじゃないと思ひますので、ぜひひとつよろしくお願ひします。

【市長】 これについては早速学校長と教育委員会で確認をして、どうしましょう。何か補足を。

【生涯学習政策課長】 生涯学習政策課津田と申します。今のは、プールの下にあるテントの倉庫をどこか屋外ですね。

【男性】 どこかちゃんと立って出し入れできるような設備が欲しいんです。

【生涯学習政策課長】 わかりました。学校長と協議させていただきます。場所の問題も必要かと思ひますので。

【市長】 だいたい昔の建物というのは個人的な感想ですけど、あんまり利便性は考えられてないですね。今、体の不自由な方も利用しやすいように、ユニバーサルデザインとよく言うようになりましたけども、手すりがついたり、高齢の方でも、足の悪い方でも行きやすいようにと。例えば公民館、堀江公民館は男女のトイレは別々だったと思ひますけど、古い公民館なんかは男女一緒のところありますから、しにくいですよ。ですので、公民館の耐震化と合わせて、男性トイレと女性トイレを別にするようにし

ているんですけど、昔の建物というのは使いやすさという面ではもうちょっと心配りしておいたらよかったかなと思います。

【男性】 堀江のボランティアグループふるさとを愛する風の会、略して愛風会と言ってます。私たちは月に1回小学生らと共同で町内の美化活動とかを行っておりますが、お願いしたいのは、川のことです。堀江地区に権現川、郷谷川のちょっと大きい川が二つあります。その川の中の草刈りをしたんですけども、たまたま去年、草を刈った2、3日後に大雨がありました。刈った草が海に流れたんです。それで、漁協の組合長さんから、そんな草刈って海に流してもらっては困る、刈った草は始末してくれるんだったら刈ってもらっていいと怒られました。それで、川の中の土砂が1m以上高いところはたまっているんです。その上に雑草が生えるものですから、大雨が降ったり、もし津波が起こって逆流した場合はすぐ水があふれると思うんですけど、川の中の川ざらいをしていただきたいというのがお願いなんですけど、よろしく願いいたします。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野と申します。おっしゃるように、権現川とか、草がたくさん生えてて、川の水が流れる部分が非常に少なくて、おっしゃるとおりだと思うんです。私も最近見かけるときがあったんですけども。権現川が県管理河川ではないかと思っておりますので、草刈りとかについて市ができるのか、県ができるのか、そのあたりまた持ち帰らせていただきまして、検討してご報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【市長】 今回も、1カ月を目途に地区に答えを必ず返させていただきます。皆さん国道はまだわかりますけども、どこが国道で、県道で、市道とかわからないですよ。この川は県が管理しているか、市が管理しているかわからないですよ。わからないと思っておりますので、どうぞ我々に言ってください。それで市から県にこのような話がありましたとお伝えすることもできます。どうぞ遠慮なく我々に言っていただいたらと思っております。これは縦割りとかではなくて、皆さん御存じのように一市民から出た人間ですけれども、両立てが一番伝わりやすいです。例えば、このようにタウンミーティングで言われて、県の事柄だったら、市から県に伝えます。で、皆さんからも伝えてもらおうと、例えば、道路の話で、ここをちょっとだけ、この路肩のこの物が邪魔になつとるけん、これをちょっとのけたらええだけということでも直接伝わらないと、えらい大仰に構えられて、なかなか工事が進まなかったりということもあるので、皆さんから直接伝えていただくとそんな大がかりなことじゃない、こういうことだけしてもらえたらええんじゃないかと伝わりやすい部分があります。我々からも伝えますし、

皆さんからも直接伝えてもらおう、この両方というのが一番伝わりやすいと思っております。

【女性】 私は堀江支所の時報サイレンについて要望させていただきたいと思っております。現在、堀江支所では朝昼夕決まった時間にサイレンを鳴らしているようです。これは屋外作業者のみならず、周辺住民に時間を知らせたり、子どもたちに対しては、起床時間や帰宅時間の目安となって規則正しい生活習慣を育てる一助となって大変有意義なものだと思っております。ただ、私の家はちょっと支所から離れたところにありますので、毎回聞こえるというわけにはいかないんですけれども、所用があつて公民館や堀江小学校へ来た際に耳にすることがあります。そのときに感じたのですが、現在はサイレンです。これは非常時や火災発生時のサイレンと同じに聞こえるんです。そうするといつも聞いていない者にとりまして、これは何なのと混同することがあります。またご近所で毎日聞いている方にとっても、サイレンというのはあまり心地いい音とはいえないんじゃないかと思うんです。それで、この時間を知らせるサイレンを、チャイムかまたは皆さんがなじみのあるメロディなどに変えていただいたらいいんじゃないかと思っております。よろしく願いいたします。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。どうぞよろしく願いいたします。今まさにおっしゃったとおりで、これはモーターサイレンというんですけれども、それが今6時、12時、18時、21時と4回鳴っているそうです。それは地域の慣習として、一日の生活パターンをお知らせするというところでもありますが、まさにおっしゃったとおりで、災害時や火災時の緊急時の感じがしまして、ちょっと怖い感じがします。そういうことはこちらのほうにも入っておりまして、変更にあたりましては、近隣の住民の方とかまちづくりコミュニティ会議の方とよく相談されて、本当に変えたいか、このままではいけないのか、変えたいのかということで協議していただいたら、前向きに私どもも考えたいと思っておりますので、何とぞよろしく願いいたします。

【市長】 私からですけど、6時、12時、夕方6時、夜9時もなっているんですか。はあ。結構早く寝る人もいますよね。9時だったら結構。あのウーっというやつですか、なるほど。昔は結構そういう地区ありましたよね。まずはご協議いただいて、地元でちょっと集約していただいて、こういう理由で変えてほしいみたいなことがまとまると、地元の協議なしに変わるよりは、していただいたほうがよいと思っておりますので、前向きに検討させていただきます。

【男性】 体育協会の役員をしております、あわせて、学校施設の夜間開

放のお世話をしております。今から30年ぐらい前、社会体育のスポーツの普及のために学校をナイター事業ということで、体育館全学校、それからグラウンドは中学校、組一つということで堀江小学校グラウンドに付けてもらっておるんですが、15年ぐらい前にグラウンド、南側に拡張したんですが、照明はその広がった南側の部分だけ移設したということです。それからバックネットはそのままだんで、バックネットが中途半端な位置にあるんです。これについては当時の学校長と相談して、移設のお願いを教育委員会にしてくれんかと言うたら、あんまり本気でやってくれなかったんもあるんです。私が今一番懸念しておるのは、照明を移動したわけですから当然その部分が明かりが足りないと思うんですが、幸い明かりが足りないことで、けが人とかは出てはいないんですが、出てからでは遅いんですが、それについても、教育委員会に行って照明だけ調査してと言うたと思うんですが、あまり真剣に考えてもらえなかった気がするんです。ですから、バックネットの移設についてはさほど問題はないので、費用もかかることですから、そこまでは夜間開放としては、問題視はしてないんですが、明かりについては一度調査をしていただいたらと思うんです、照明灯の数はそのまま、広がった部分だけは当然暗くなつとんですよね。それとその照明灯も30年ぐらい経つんで、これ堀江だけでなく、他の学校もだと思ってるんですが、老朽化しておりますんで、コインを入れて自動に点いて自動で切れるんです。これタイマーの狂いがすごく激しいです。それから雨が降ったときにショートして切れたりということもあったんで、その辺のところは、堀江だけでなしに、他の学校も含めて調査していただきたいし、今後どういうふうに対応されるかをお聞きしたいです。

【生涯学習政策課長】 教育委員会です。今のお話は夜間照明照度をまず確認するという事です。実は先般、昨日もちょうど連絡が担当課にありまして、現場を見に行ったようですけど、確かにおっしゃられるとおりに、かなり老朽化している部分がありまして、ライトが突然切れたりする事例もあるそうです。早速担当課に調査させる形にしておりますので、またお時間等が合うようでしたら担当課から連絡させますので、立ち合いをよろしく願いいたします。

【男性】 まちづくりコミュニティ会議です。お世話になります。お金をくれくれ言うのはなかなか言いにくいんですけど、まちづくりの交付金をちょっと増やしていただけないかということです。現在交付金は、堀江では事務費が40万、事業費が80万ですから計120万で運営しておりますけども、今年の予算ですともう来年の繰越金が4万ちょっとしかないということで、今のままでいくと来年度かなり大きく事業を削らないかんのか

など思っております。事業を削るとなると、せつかくまちづくりうまいこと  
とっている、14部ありますので、その事業部平均が10万です。これを  
どんどん削っていくとなるとまちづくりの非常に困った状態になる  
という気がしておりますので、全額市の方で負担してほしいということ  
なんですけど、今の40万、80万いうのを、例えば事務費ですと、今80万  
ほど使っておりますので、できれば20万ぐらいプラスしてほしいこと  
と、事業費については、事業やったらやるほどお金が要りますので、  
その分について、今から加算する部分については自己負担も含めた分  
で結構ですので、そういう形でやっていただければありがたいと思  
います。堀江の自己資金はだいたい65万ぐらいです。毎年10万から  
20万ぐらい足りません。海の駅ができましたのでこちらの方にも  
事業をやっているかなと思ったりもしよりますので、そのためにも  
資金がちょっと必要になってまいりますので、来年度あたりの  
予算から考えていただいたらと思ったりします。よろしく  
お願いをいたします。

【市民部長】 堀江地区のコミュニティ会議では自己財源で、年間500  
円の会費を徴収した上で、先ほどおっしゃいました40万と80万を  
合わせて全部で150万余りの市の交付金を活用して活発にやられて  
いることですので、非常に先進的な取り組みでしていただいて、  
敬意を表しております。誠にありがとうございます。ただ、  
と言いながら誠に申しわけないんですけど、補助金、  
交付金につきましては現時点では引き上げは、  
いろいろな関係がございまして考えておらない  
というのが正直なところでございます。ただ、  
今後のまちづくり協議会の普及に伴いまして、  
各地区の状況に応じて、均一的な状況では  
いけないかなと思いますし、さまざまな  
支援策を講じる必要があるかと思  
いますので、その際に対象範囲  
の見直し等も含めて総合的に  
検討して参りたいと考えて  
おります。なお活動事業費の  
財源確保につきましては、  
市だけではなくて、国や  
県、また民間財団などの  
補助制度なども、情報提供  
に努めたいと思っております  
ので、よろしく  
お願いいたします。

【市長】 今日はお子さんもいらっしゃるので、  
わかりやすく言うと、実はお祭りなんかの  
獅子舞とかおみこしとかが古くなってきたら、  
国・県・市、そういう行政がサポートする  
のがあるんですよ。宝くじの費用を使って  
まちのお祭りなんかの助成をして  
くれる制度もあるんですよ。そう  
いった国とか民間の財団のほうも  
考えられますので、情報提供も  
またさせていただきます  
と思っております、趣旨はよく  
わかりましたので。

【男性】 国や県とか市の分は、  
お願いはしよんですけど、  
これ結局安定してない  
ですから。ある程度安定  
したお金がないとなかなか  
事業を打てな

いものもありますので、できたら。大分削らないかん。尻すぼみになってもどうかと思います。

【市長】 わかりました。趣旨よくわかります。ありがとうございます。

【中学生】 堀江港は今、釣り人たちがいっぱいいるのですが、近くに釣りの餌を売る場所がないので、そこをどうにかしてほしいので、よろしいでしょうか。

【市長】 はい、いい質問ですね。じゃあどうしようか。これ社会科の勉強だとして、市役所がやろうか。その餌はどこで誰が売ったら一番いいと思います。堀江港で釣りしよる人が多いの僕も知っています。じゃあ餌を誰が売ったらいいと思いますか。

【中学生】 漁業組合。

【市長】 漁業組合が売ったらいい。なるほどなるほど。漁業組合が。じゃあどこで売ったらいいかな。

【中学生】 「うみてらす」。

【市長】 「うみてらす」で。確かにやりようとしてはあるかもしれないな。じゃあ、今例えば、松山に大きい釣道具屋さんあるよね。で、釣りする人は、車で来るよね。そういうところで買ってくるんやないんかな。北条や菊間から来る人も釣りの餌、向こうから買うてくるんやないかな。どう思います。

【中学生】 そういう人もいる。

【市長】 そういう人もいる。あ、じゃあ「うみてらす」で餌を売れば、ちょっとでも儲かるんじゃないかなとか、人が来るんじゃないかなとか思う。なるほど、なるほど。そう考えることは、すごい大事なことだと思います。いいことだと思います。じゃあ、「うみてらす」の活用方法についてもう一つだけ質問すると、あそこどんなに使ったらいいと思う。「うみてらす」。場所はできたよね、トイレも綺麗なんできたよね、スペースまあまああるよね。どんなにして使ったらいいかな。なんでもいい。これテストじゃないから、どうしたらいいと思う。

【中学生】 遊び場。

【市長】 遊び場。誰の遊び場。大人、子ども。

【中学生】 みんなが楽しめる。

【市長】 みんなが楽しめるよ。そうかあ。こうやって考えていくと楽しくなるよね。どうやったら人が来てくれるか。考えると楽しくなるよね。これまちづくりなんです。今、大人の人から質問出たように、大人も「うみてらす」うまく活用したいって思ってる。子どもも活用したいって思ってる。みんな意見まとめて、まとめなくてもいいよ、市役所といろいろ

お話していい場所にしましょうよ。餌を売るのも一つのやり方だと思うからいい意見です。みんなのまた刺激になりました。いい意見ありがとうございました。

【男性】 内宮中学校です。こうやって生徒が来ておりますし、堀江というまちが大好きです。また、堀江の方々に本当に支えていただいていますので、参加させていただきました。二つあります。一つは市長さんがタウンミーティングを2倍の早さで行う、また昨日は第7ブロックのあいさつに来ていただいて、大変身近な存在でいていただいているということは、私たちが市政を身近に感じることに繋がっていると思いますので、今後もその姿勢を貫いていただけると私たち嬉しいです。

【市長】 もちろんです。

【男性】 二つ目です。私は立場として中学校を預かっております。今、内宮中学校には堀江地区の子が約3分の2、和気地区の子が約3分の1在籍しております。入学すると、その子たちは堀江・和気関係なく、内宮という一つの郷土を調べ、そして愛し、いろいろな活動を進めています。例えば今度1年生が、堀江海岸を清掃します。またいろいろな取り組みを公民館のほうもやらせていただいております。そういったことで、中学校の一つの役割としては、私の学校でいうと堀江と和気を繋ぐ、そういう役割があると思います。実際にここに来ている子どもたちも「ほりえゆめくらぶ」の子たちです。ほりえゆめくらぶには馬木の子、和気の子も入ったりして、子どもたちがすでに地域をつなげていくことにもつながっていくわけになります。私の一つの役割はつなげる、あといろいろな活動を通じて考えておるんですけど、このタウンミーティングが今後41地区でされますけれども、隣りとかちょっと違ったところのタウン等、つながるといとか広がるというところを市長さんどのように考えて進めていかれるのかを聞かせていただければと思います。

【市長】 わかりました。これについて、皆さん堀江の方は胸張っていただいたらと思います。まちづくり協議会というのを進めておりました、準備会含めて14まできておるんですけども、これ堀江さん早かったんですよ。こういう組織が堀江が最初にできました。そうですね、このまちづくり協議会と、タウンミーティングの2本柱で、両輪で進めていきたいと思っております。中学校の話題が出ましたけど、タウンミーティングがきっかけで余土中学校の移転、20年動かなかったものが決まりました。実は、余土中学校の移転場所は、坊っちゃんスタジアムに国道から曲がる場所に大きい敷地、あそこが移転先として構えられていたんですけど、ざっと言うと、余土中学校の今ある建物のところが便利やからあそこで校舎

建て替えてくださいという人と、せつかく坊っちゃんスタジアムに曲がるあそこの広い場所があるんやから、あそこで移転してくださいというグループと地元の意見が一つにならなかったんです。地元の意見が一つにならないと行政としてはなかなか手出しが出しにくいところがありまして、余土地区のタウンミーティングでその話が出て、皆さんが、意見を統一していただくと話が進みやすいんですと言ったら、地元の皆さんがまとまってくださったんですよね。このように、タウンミーティングによって、地元にはどんな魅力があって、どんな課題があるかを皆さんが知ることになります。そして、この町どうしたらいいんかっていうのをみんなが考えてくれるようになります。すると、物ごとが早く進みだすんです。ですので、このまちづくり協議会と、タウンミーティングの両輪で皆さんが地元のことについて考えて、そして動いていただく、そしていい41地区ができる形にしていく。それぞれの41地区が輝くと、その集合体である松山市はもっと輝きます。ですので、この両輪で進めていきたいというのが私の考えです。

【男性】 学校支援地域本部のコーディネーターをしています。「ほりえゆめくらぶ」を立ち上げました。現在、小・中学校で45名の子どもさんたちが入会してくれております。先ほども言われたように中学校の子は和気地区の子も堀江地区のまちづくりに参加してくれるという非常に嬉しいことをしてくださったんですが、先ほど出たんですが児童館という話ですよね。1年目のタウンミーティングのときも、中学生がぜひお年寄りと一緒にところつくってほしいということをお願いしました。そのときもお金の問題でだめということでした。今も今度は高齢クラブの方が発表してくださったが、今聞いたところによると難しいであろうと。まあ予算的なことがあるので難しいのはわかりますが、堀江地区は前久保田公民館長から始めて、12年間学社融合でやってきました。その後も「ほりえゆめくらぶ」とか子どもたちをかすがいにしたまちづくりを進めています。2回連続で子どもから、高齢者から、両方から意見が出たにもかかわらず、ここで何も対応ができないというので終わらされるとすごく私としてはつらい。いろいろよそには負けない取り組みをやってきたつもりですし、これからも続けて行くつもりですが、何か一つでも前進がないとなかなか報われないと思いますので、施設をつくれとは言いませんが、いろんなこの地区に子どもたちが平等にいろんな機会を得れるように、施設じゃなくても公民館を代用するにしてもその人員とか予算とかをつけてもらう。例えば久枝児童館とかですと専任の方がおられますが、そういう方が居ないとここにおりますと、堀江だけではないですけど、いてくだされば子どもたち

で集まれるところになると思うんですけど、まあそういうことを今は私たちがほんとにボランティアでやっていますが、それをいつまでも続けるのは難しいし、私もなかなか人をお願いすることもできない。施設はできなくてもコーディネーター的な人員をつけていただくと、一つでも一歩でも進めるので、高齢者、子どもたちも納得できるんじゃないかなと思いますので、ぜひ何か一つ一歩でも前進するような意見をいただいて終わっていただければと思います。

【保健福祉政策課長】 先ほど市長が説明したと思うんですけど、今、児童館は7カ所市内に設置してるんですが、人口のバランスとかを見て設置を進めております。で、よく新聞報道等で「子ども・子育て3法」が掲載されてますが、その法律のいろんな財政措置も変わっていきますんで、そういう状況をふまえる中で検討させていただきたいと考えています。

【市長】 ちょっと確認をしたいんですが、ここで厳しいという見解を示すことがあるんですけども、持ち帰らせていただいて市役所内でよく検討させていただきます。1カ月を目安として答えを返させていただきますけど、よくよくお話しを受けて、また今日ご意見いただいて、そして皆さんからも拍手がありましたけれども、熱意はよくよくわかります。ちょっと難しいところ、悩ましいところが、今日お子さん来てくれてますけど、横浜市の待機児童のことが最近よく報道されました。うちも手をこまねいているつもりはないんですけど、平成27年から「子ども・子育て3法」が動き出します。我々としては決まったお財布なんです。国からお金が地方に配分されてくるんですけど、国が今一千兆円の借金を抱えているんです。ですから地方に回って来るお金がこれから増えるとはなかなか考えにくい。そういう中で二重投資とか無駄打ちは避けないといけない。平成27年の国がやろうとしてる子育てを変えて行こうというのが直前に迫りますから、無駄打ちはできないところがあります。そういう部分もあってよくよく検討させていただく部分があるんですけど、例えば待機児童の問題も愛媛県内で待機児童の問題があるのは松山市だけと聞いております。保育所は待ってる人がいるけど、幼稚園は定員割れという状況です。だから国では幼稚園と保育所を統合していこうという形があるんですけど、そういうのが目前に迫ってるので無駄打ちはできないところがあって、よくよく検討させていただきます。皆さんのほうの想いはよくわかりましたので、よくよく検討させていただきます。ハードが難しいんだったらソフトもやり方あると思いますので、検討させていただこうと思います。

【男性】 最近近くに煙草とかいっぱいあるんで、ポイ捨てする人も悪いんですが、ごみ箱とかを増やしていったらいいなと思います。

【市民部長】 はい、ごみ箱とかは置いておくと勝手に入れてしまうとか、いろんな人が悪さをして入れてしまうとか捨ててしまうとかがありました。以前ごみ箱を逆にのけてしまおうということが一時ありました。そんなことでだいぶごみ箱は減っておりますが、地域美化、ごみについてはいろんなことをやっております、特に市内のごみのポイ捨てにつきましては、平成15年7月「松山のまちをみんなで美しくする条例」もつくって、私たちのまちは私たちの手で美しくを合言葉に、市内の美化活動には取り組んでおります。それでもやっぱり心無い人の行動が一部ありまして、公園や道路で言われるようにごみとか煙草とかが落ちてることがありますので、そういうことがあってまちのイメージを損ねていることもあります。美しいまちづくりを推進するということで、地域の人とか会社とかで身近な美化を進めようというプチ美化運動を進めたり、今度7月14日にありますが市民大清掃とかクリーンアップ活動とか、市役所もいろんなことで取り組んでいますので、特に7月14日の市民大清掃に参加したりして、みんなで地域を綺麗にしていくということでやっていただいたらと思います。

【市長】 ごみのことは、結構ごみ箱が昔より減ったと思われるかもしれませんが。実はごみ箱を置いてしまうと逆にそこにごみを置いてしまえっていう方が結構いらっしゃって、ごみ箱を置いていると逆にごみが増えてしまうという残念な例もあるようです。なんか自分さえよかったらいいみたいな風潮になってるんで嫌なことでもありますけれども。

冒頭に標高マップシステムのことを紹介しましたが、今堀江地区、これまた市役所のホームページを見ていただいたらと思うんですが、標高マップシステムということで堀江地区も色づけされております。低いところが緑、そしてオレンジ、赤というふうに色が変わっていきますので、見ていただいたら自分のところがどれくらいの標高なのかというのが見ていただけますので、また確認していただいたらと思います。また防災のことで言いますと、皆さんのお家に防災マップをお配りしてるんですが、防災マップを全戸配布したあと東日本大震災が起こってしまったんですけど、あの防災マップ全然役に立たなくなったわけではありません。大変有益な情報があの中には詰まっていますのでぜひ見てください、そして備えてください。最初のページにこの松山でも何らかの災害に遭うと思ってる人は8割いるんです。でもタンスが倒れないようにとかそういう準備している人はいますか、どれくらいの方が準備してますかといったら2割くらいの人しかやってないんです。これ皆さんのお家にもあります、有益な情報がありますので、心配し過ぎることはありません。過ぎたるは及ばざるがごとし

ってという言葉がありますように、松山の津波が来るのは2時間10分後と想定ではされておりますので、東北とはやっぱ地形が全く違いますので津波のスピード、時間違いますので、過ぎたるは及ばざるがごとし。ちゃんと現実を捉えて皆さま方も私どもも対処していくことが大事ですので、また防災マップ見ていただいたらと思います。

最後に、今日ほんとに長時間ありがとうございました。15の質問、必ず持ち帰らせていただいて市役所内でよくよく検討させていただいて、1カ月を目途に返答させていただきます。聞きっぱなしにはいたしません。やりっぱなしにはいたしません。最後に私からお願いですが、私はよく職員に言っているのは、市役所というのは、市民の皆さんの役に立つところでないといかんとおもっています。皆さんからお声をいただいて直ちにできないこともあると思いますが、市役所と皆さま方が対立するようなことでは物ごとが前に向かって進んでいきません。もしすぐにできないことがあっても、こういうやり方もあるんですよと情報提供をすることもできます。市役所を敷居の高いところだと思わないで、皆さんの役に立つところで市役所だと思っておりますので、どうぞお気軽にさまざま相談していただいたらと思います。よろしくお願ひします。また今回ちょっと言えなかったんよという方は、市長に宛ててのハガキ、メール制度もありますので、そんなので言っていただいてもいいですし、窓口常にかいておりますのでまた遠慮なく言っていただいたらと思います。今日、通学路のことでここが危ないんよということありましたら、この後すぐに帰るわけではありませんので、また通学路以外で道路でちょっと危ないようなところがありましたらおりますのでまた言っていただいたらと思います。これからも皆さまの声をよくよく聴きながら市政に反映していきたいと思ひますので、これからも皆さまのお力添えをよろしくお願ひいたします。今日は本当にありがとうございました。

— 了 —